

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぶんば（放課後等ディサービス）			公表日	
					2025年 10月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		こどもが使用するもの以外は基本的に置かず、できるだけ活動スペースを広くとれるように工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10		送迎時刻が重なる時間は少ないと感じることもあるが、日々の職員数は多い方だと思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		各おもちゃ箱に中の写真を貼って可視化している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日次亜塩素酸や消毒液での室内清掃を行っている。活動に合わせて机やテーブルを移動させ活動に合わせたスペースを確保している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2	カーテンでの仕切りを活用している。	カーテンで仕切るスペースしかなく、学習する子と遊んでいる子が同じスペースにいるので集中しにくいと感じる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	日々のプログラムで何か気づいたことや、問題があれば振り返りを行っている。	気づいたことや問題があった時に振り返りをしており。時間があれば毎日振り返りを行ってもいいかもしれない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		アンケート結果を閲覧できるようになっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		職員の意見交換をする時間は多い	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10		外部評価は行っていないため、今後検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		研修のお知らせはよく掲示されている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	10		モニタリングでの保護者のニーズをまとめたものを閲覧できるようにしており、個別支援計画の目標の意図が分かりやすい。	
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	2		意見を言えない子は保護者のニーズにより計画が立案されているため、児が本当に望んでいるのか不明なこともある。
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		個別支援計画を元にチュートリアルレッスンの内容や日々の関わり方を工夫している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		月別で担当者を変え、プログラムの内容が偏らないように工夫している。 毎月療育プログラムのカレンダーを作成し配布している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		曜日別で同じプログラムが重ならないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		子どもの状況に合わせて外遊びやクッキング、買い物体験などプログラム化している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1		支援終了後に振り返る時間はないため翌日午前には振り返る時間を設けている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		毎日活動記録を記載もしているが、送迎時日中の様子を伝えるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		5月と11月に必ず全員のモニタリングを行い計画の立案し支援会議をしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	10		開催されれば可能な限り参加するようにしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児発管や担当職員が参加できるように調整している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		相談員さんがいる場合は就学前の支援会議に参加し意見を伝えることはしている。 医療的ケアが必要な児童は医師から指示書を受けている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			就学前の園との交流は図っていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		10		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		10		学校を卒業となった児童が在籍していないので分からない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		10	自立支援協議会や、放課後連絡会での勉強会や交流会があれば参加するようにしている。	そのような機会は設けていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	2	休日や長期休暇には地域の公園やイベント、児童館へ行き地域の中で遊べるように時間を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10		自立支援協議会や、放課後連絡会での勉強会や交流会があれば参加するようにしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		日々の活動記録はもちろんであるが、送迎時にデイでの様子をできる限り伝えるようにしている。 また年に1回は子ども達のアルバムを作成し配布している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		10		事業所として研修や交流会は行っていないが、外部でのイベントのチラシなどの配布は行っている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		支援会議にはできる限る本人も参加できるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		5月と11月にモニタリングを行い計画の同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		悩み相談等あればモニタリング期間以外でも面談を行い保護者の悩みを聞くようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		10		事業所として研修や交流会は行っていないが、外部でのイベントのチラシなどの配布は行っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		できる限り迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1	インスタグラムで日々の様子をアップしている。 (頻度は不定期)	日々の様子を保護者に知っていただくためにも、まずは週1回アップすることを目標にしています。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		スタッフにはできる限り周知できるようミーティングを行っている。難しい場合はLINEなどを活用し情報共有ができるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2		地域住民を招待することはないが、地域に行事に参加していることはある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		毎月避難訓練（各災害を想定した）を実施できていると思います。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		看護師がたくさんいるので安心できます。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		看護師がたくさんいるので安心できます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10			現在身体拘束が必要な児童はいないが、必要な児が利用する場合に備えておきたい。